**⑥　検体送付についてのお願い**

病理検体は広島大学病院遺伝子診療部宛に**ワレモノ扱い・簡易書留で郵送**してください

宛名書きは以下を切り取ってご使用ください

＊送付いただくもの＊

* 病理診断報告書
* ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）標本
* 病理検体貸出表（紹介元規定のものがあればお願いします）

以上の3点を同封してお送りください

**＜注意事項＞**

1. **なるべく新しい検体**が推奨されております。古い検体（3年以上経過）は核酸の状態が悪く，検査ができない可能性が高くなります。
2. 原発巣より転移巣、症状の進行に影響を与える病巣がDNA抽出に適しております。
3. 検体を受け取り次第、借用書をお送りします。検査会社による検体のクオリティチェックが終了するまで、検体をお預かりさせていただきます。（およそ1カ月程度）

＜参考資料＞

日本病理学会「ゲノム診療用病理組織検体取扱規程」

http://pathology.or.jp/genome\_med/pdf/textbook.pdf

〒734－8551 **簡易書留**

広島県広島市南区霞1－2－3

広島大学病院　遺伝子診療部

檜井　孝夫　　　　宛

ワレモノ注意

**「がんゲノム医療外来書類・検体在中」**

【郵送先及び連絡先】

〒734-8551

　広島県広島市南区霞1-2-3

広島大学病院遺伝子診療部

がんゲノム医療外来

TEL：082-257-5965

FAX：082-257-1762

　hucgc2019@hiroshima-u.ac.jp